

総会議案書

2024年4月20日（土）

午後1時30分

置賜総合文化センター

米沢古文書研究会

米沢古文書研究会議案書

- 1 2023 年事業報告
- 2 2023 年決算報告
- 3 2024 年事業計画（案）
- 4 2024 年予算(案)
- 5 役員名簿（本年は改選時期ではありません）
- 6 会員名簿
- 7 会則

2023 年度事業報告

1. 例会日程

I 部 (第 3 土曜日)	II 部 (第 4 土曜日)
(高橋家文書・佐藤家文書、増補旅使奏訓)	(式目、国政談下)
2023 年 4 月 15 日 総会、荳戸「こふなもの」読む	4 月 22 日
5 月 20 日	5 月 27 日
6 月 17 日	6 月 24 日
入門講座を 7 月 1 日、8 日の各土曜日午後 1 時 30 分～4 時実施	
7 月 15 日	7 月 22 日
9 月 16 日	9 月 23 日
10 月 21 日 研修旅行	10 月 28 日 ミニ講演会
11 月 18 日 (午前中 古文書解説相談会)	11 月 25 日
12 月 16 日 (第 3 土曜日)	12 月 9 日 (第 2 土曜日)
2024 年 1 月 20 日	1 月 27 日 (新春茶話会)
2 月 17 日	2 月 24 日
3 月 16 日 午前中理事会開催	3 月 23 日 (例会後監査)

2. 新型コロナウイルス対策

・2023 年度は、4 年目の新型コロナウイルスは 5 類に変更されて、対応はだいぶ緩和された年だった。しかし収まりきった状況ではなく、相変わらず広い部屋でマスクをしたままでの例会となった。

3. 初めての古文書入門講座

・7 月 1 日と 8 日 (午後 1 時 30 分～4 時) の 2 日間、米沢図書館デジタルライブラリー掲載の「平家物語」(室町期成立とされているが和漢混淆文で読みやすい)と「文の燈」(米沢藩家臣の馬場次郎兵衛作成の文例集、達筆流麗過ぎて読みづらい)を教材として入門講座を実施した。

・講師は平賀・川崎両会員が担当した。研究会ホームページに教材が掲載されている。会員 10 名、一般参加 4 名の参加があった。この講座参加者から 2 名の入会があった。

4. 研修旅行「長井・白鷹方面を見分しよう」実施

10 月 21 日 (土) 8 時 15 分、米沢運動公園駐車場集合、会員 16 名・会員外 1 名が参加し、マイクロバスで移動した。長井市史編纂専門委員の岩崎さんが付き添い解説をしてくれた。午後から雨の予報のため予定を変更し、午前中に外回りの、長井の白山神社、総宮神社・普

門坊（馬頭観音）、白鷹の黒滝・つぶて石を見学、そば処丸万で昼食、午後は、新設の「くるんと」（長井市立図書館）の郷土資料コーナーを見学、小桜館駐車場に駐車し、文教の杜ながい（丸大扇屋）で所蔵の「米沢御一円明細秘抄」など古文書を閲覧させてもらい（事前に特別使用許可申請を行った）、そして旧長井小を見学し、総合運動公園へ戻った。

なお、9月7日（木）に永井、中村（善）、高橋（敬）の3人で下見を行っている。

5. 秋のミニ講演会

10月28日（土）13時半から文化センターで、秋のミニ講演会を実施した。従来は午前中に実施しているが前年同様コロナのことも勘案して午後とした。本川会員が『「廃藩置県」と「明治維新」なぜ前代未聞の大革命に成功したのか』と講演し、自己紹介や自分で勉強された豊富な幕末から明治への変革についての実感なども含め、わかりやすい講話だった。20名参加。講演終了後、2部例会の国政談（下）の講義を行った。

6. 古文書解読の相談（各家庭に埋もれている古文書の発掘）と臨時理事会

解読相談を、11月18日（土）10：00～12：00に北部コミセン・第一研修室で実施し、4件の相談があり、会員が分担して対応した。相談会終了後、昼食をとりながら、臨時の理事会を開催し、新教材などを検討した。

7. 新春茶話会

2024年1月27日、2部例会の式目講義の後に新春茶話会を実施、米沢商工会議所女性部作成の「米沢かるた」取り大会を開催し、その後、自己紹介を行って親睦した。なお、茶菓子の準備を怠り、「茶」話会にならなかったが、楽しんで終了した。

8. 例会教材・講師

(1) 教材

I部：2022年6月から2024年1月まで高橋家文書を教材とした。三扶持方であった高橋家の先祖が藩に提出した勤書、宗門改帳などの控えで幕末から明治の記録である。2024年2月から佐藤家文書（2023年に古文書研究会に寄贈された幕末から明治にかけての文書のうち29点）を教材とする。

II部：式目と国政談（下）

(2) 講師

I部 高橋家文書 高橋（捷）・平賀・中村（恵）

その他は、2024年度事業案に記載

9. 新入会会員ほか

2名の入会があった。

10. 資料集作成

60周年（2026年）記念として資料集を発行できるように準備しており、例会担当を中心に、米沢藩の職制や歴代米沢藩主について、紹襲録や任職叢考などを参考に整理する事から始め、月に1～2回、中村(恵)、川崎、平賀、岡崎、中村(善)が、文化センターに集まり、昨年度終了した「紹襲録」1～2巻の解説に続けて、「任職叢考」全1～6巻を、担当を決めて解説を行い、ほぼ終了し集約中である。

11. インターネットの利用

・米沢古文書研究会のホームページを作成している。例会の予定、教材などを掲載している。

<https://yonezawakomonjo.web.fc2.com/>

・ホームページの「一口メモ」に例会で話題になった用語などの解説がある。

12. 市立図書館のサポーター活動・図書館古文書講座への参加

- (1) サポーター活動として、米沢図書館デジタルライブラリー掲載などの古文書解説（現在は、「米藩名臣録」と上杉文書所収の戊辰文書、水曜日午後2時から）、マイクロフィルムのデジタル化作業（コロナ対策のため、多数集合せず、各自の日時を重ならないようにして実施、新聞、勤書、先祖書などのデジタル化）を行っている。参加には図書館のサポーター登録が必要。（サポーター登録すると、博物館の無料閲覧が可能）
- (2) 2024年2月11日、18日、25日の各日曜午後1時30分～4時に第67回市立米沢図書館主催古文書解説講座が開催され、30人頭の願書留、上杉勝応宛ての（女筆）手紙、景勝宛の中世文書の書札などが教材だったが、結構と難易度が高かった。

13. その他

- (1) 長会員が、「長家文書を読む」を出版した。長家文書は、幕末に上杉茂憲が京都警衛のため上洛に随伴した右筆の長右馬之助と家族との間の手紙など、長家に残されていた文書である。
- (2) 文化センター、コミセンの減免申請を行い、例会のほかに、紹襲録・任職叢考の解説勉強会や例会当日の午前中に勉強するなど各会員有志の勉強会にも減免を利用している。

以上

2024 年度

米沢古文書研究会事業（案）

1. 例会日程

I 部（第 3 土曜日） （佐藤家文書、増補旅使奏訓）	II 部（第 4 土曜日） （式目、国政談下）
2024 年 4 月 20 日 総会（例会は休み）	4 月 27 日
5 月 18 日	5 月 25 日
6 月 15 日	6 月 22 日
入門講座を 7 月 6 日、13 日の各土曜日午後 1 時 30 分～4 時（案）	
7 月 20 日	7 月 27 日
9 月 21 日	9 月 28 日
10 月 19 日 研修旅行（案）	10 月 26 日 ミニ講演会
11 月 9 日 解読相談会	
11 月 16 日	11 月 23 日
12 月 21 日（第 3 土曜日）	12 月 14 日（第 2 土曜日）
2025 年 1 月 18 日	1 月 25 日（新春茶話会）
2 月 15 日	2 月 22 日
3 月 1 日（案）理事会開催（午後）	
3 月 15 日 例会	3 月 22 日（例会後監査）

2. 古文書入門講座（本会主催）

教材(案)：勤書（色部家）、源氏物語（米沢善本）などから、入門講座の川崎担当が選択し、講師を選定する。

日程(案)：7 月 6 日（土）、13 日(土)の 2 回

3. 研修旅行

内容(案)：檜下宿脇本陣、金山峠、七ヶ宿、白石城を巡る

日程(案)：10 月 19 日（土）

4. 秋のミニ講演

講師：長会員

内容：(仮題) パソコンを苦使して成就した「長家文書を読む」を語る

5. 古文書解読の相談（各家庭に埋もれている古文書の発掘）

日程(案)：例年だと11月I部例会の午前中に実施していたが、丸一日で午後例会は体力的に困難であり、I部例会の前週の11月9日午後実施する。

6. 例会講師と教材

I部 佐藤家文書 初回は高橋（敬）、3月以降は長、宮澤講師、中村（恵）
（宮澤講師は石黒さんの後に図書館学芸員に就任、研究会講師初めて）

旅使奏訓 青木顧問

II部 式目 中村（善）・高橋（育）・高橋（敬）

国政談（下） 川崎・坂部・塚原

国政談は年度内に終了する可能性があるため、次の新教材選定・解読・作成など準備が必要。例会担当と執行部で協議して決定する。

なお、講師手当は、一人で全部担当の場合は1万円、三人担当の場合は3000円を目処とする（2023年11月18日理事会決定）。

7. 資料集作成

60周年（2026年）記念誌になるように準備する。中近世の米沢の社会（武士だけでなく農民、町人も含めて）を可視化するような資料集を目指す。本年中に、目次・概要を検討し、全体の構成を策定する。50周年誌のような会員の文集については、作成するとしても会員のみ配布の程度としたい。なお、50周年誌の残部が多数あるので、知人等に配布する場合は事務局に連絡されたい（無料）。

8. インターネットの利用

- ・米沢古文書研究会のホームページを作成している。「一口メモ」には有用な情報たっぷり
<https://yonezawakomonjo.web.fc2.com/>
- ・クラウド（google drive）を用いて資料の提供もしている。

9. 市立図書館のサポーター活動

- ・市立米沢図書館デジタルライブラリー掲載などの古文書解読を行う。
現在は、「米藩名臣録」、上杉文書の戊辰文書（まだまだ終わらず、難読）の二つを水曜日午後2時から図書館郷土資料室で高橋敬一・育子・川崎の3人で行っている。
- ・マイクロフィルムのデジタル化作業（新聞、勤書を行っている）
- ・参加にはサポーター登録が必要。（サポーター登録すると、博物館の閲覧無料）

10. 第67回市立米沢図書館主催古文書解読講座への参加

例年どおりに可能な範囲で参加する。

なお、昨年度は難易度が高かった。

11. その他

・ 講師同士の連携と講師以外も含めた事前の打ち合わせ・準備などの機会を作る。

打ち合わせや勉強の場所としては文化センター、コミセンの減免許可（許可番号 文 C-3 コ E-10）があるので、研究会として適宜申し込んで利用されたい（無料だが、冷暖房費は自己負担）。

以上

米沢古文書研究会 会則

- 第1条 本会は米沢古文書研究会と称する。
- 第2条 本会の事務所を幹事宅に置く。
- 第3条 本会は古文書の解読技術を身につけ、郷土に伝わる古文書に親しみ、相互に学習・研究していくことを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- 1 古文書解読学習会の開催。
 - 2 その他、必要な事項。
- 第5条 本会は、本会の趣旨に賛同する者をもって組織する。
- 第6条 本会に次の役員をおく。
- | | | | |
|-----|-----|----|-----|
| 会長 | 1名 | 幹事 | 若干名 |
| 副会長 | 2名 | 監事 | 2名 |
| 理事 | 若干名 | | |
- 第7条 会長、副会長および監事は総会において推挙する。理事並びに幹事は会長が委嘱する。
- 第8条 役員任期は2年とする。但し再任をさまたげない。
- 第9条 会長は、会務を総括し、本会を代表する。
副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代理する。
理事は会長・副会長と共に理事会を構成し本会を運営する。
幹事は会務の執行に当たる。監事は会計を監査する。
- 第10条 本会に顧問をおくことができる。顧問は理事会にはかつて会長が委嘱する。
- 第11条 本会の会議は総会・理事会・幹事会とする。
総会は年1回会長が招集し、会則の変更・予算・決算・事業計画・役員改選・その他 重要事項を審議する。
- 第12条 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附則

本会の会則は昭和62年4月18日から施行する。

会則第2条を平成21年4月18日から改正・施行する。